

中央大学国際センター 2026年度 春学期 TOEIC 講座 600点コース・リーディング入門 (水6) シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご遠慮なくお尋ねください。

● コースの説明…水曜5限に開講するリスニング入門コースでは、同じテキストを使用し、リスニング対策を行います。お時間に余裕がありましたら是非合わせての受講もご検討ください。

コースの概要・学習量・目的	TOEIC600点の取得を目指して、TOEICのリーディングセクション (Part 5-7) の概要を知り、本番で慌てないようにするための基礎講座です。単語帳を使用して600点を取得するために必要な頻出語を学習し、また本番より少し易しめの模試問題集によって出題形式や出題範囲、受験のコツや学習方法を学びます。TOEICを受験したことがないが気になる、受験したことがあっても対策をしたことがない、近いうちに初めての受験を予定していて、準備無しで受験するのが心配といったみなさんに向けたコースです。授業の雰囲気は、オンラインではありますが、勉強会のような感じをイメージして頂ければと思います。どうぞお気軽にご参加ください。 ※ 当講座では、新年度のクラス分けなどで用いられることが多いオンラインのTOEICテストではなく、紙のTOEICテストを念頭において学習します。紙のTOEIC対策ができていれば、オンラインのTOEICにも対応可能であるのがその理由です。
コースの目標	① TOEICテストのリーディングセクション (Part 5-7, 101番~200番) に関する入門的な知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	600点
使用テキスト／電子書籍ではなく紙版を推奨します テキスト (2冊、2,310円)	① (単語帳) TEX加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ 増補改訂版』 (朝日新聞出版、990円) ※ 2026年1月に増補改訂版 (新版) が出ました。当講座では増補改訂版を使用します。 https://publications.asahi.com/product/25791.html ※ 同著者の同出版社からの類似のタイトルの著作、『金のセンテンス』、『金の文法』、『金の1000問』等と間違えないようにお買い求めください。 ② (模試問題集) 早川 幸治、ロス・タロック著『TOEIC L & R TEST 直前対策模試』 (語研、1320円) ※ こちらも旧版がありますが、2026年4月20日発売予定の改訂版を使用します。 https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-465-4 ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場のTOEICコーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。また、一般の書店でも購入できますが、市中の書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。
1回の授業の流れ	オンラインで集合し、次項に示したスケジュールに沿って manaba 上の単語テストを解き、続いて模試問題集によって学習を進めます。単語テストの準備以外予習は原則として不要です。講師と一緒に勉強会のような授業だとお考えいただくとイメージしやすいかと思います。あまり急がず、問題の英語を精読することを意識します。当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。
予習・復習	□ 予習…原則として不要です (開講後状況に応じて調整する可能性があります)。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題の解き直しなどをお勧めします。
受講生のみなさんへのお願い	① オンライン授業 となります。次の2点についてご了承ください。1) 講義は会議ツールのZoom Workplace または Webex を使用 します。大変申し訳ありませんが、 録画・見逃し配信・教室での対面開講の予定はありません 。2) カメラやマイクの on/off は学生のみみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断しますが、プライバシーや授業の受けやすさ、通信量・品質等を考慮し、 ずっとカメラやマイクを on にしたまま進行する授業ではありませんのでご安心ください 。 ② テキストのコピー、PDFの配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 17:00 までに、manaba のコースニュースより、会議ツールのミーティング URL と、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内 します。manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。600点取得を前提として授業を進めますが、大切なことは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した模試問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合があります。

※ 下表「**金フレの範囲**」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に manaba の「小テスト」機能を使用し、単語テストを行います。1 回 10～15 間で原則として選択式です。

② 毎週のテスト範囲は、下表左、「金フレの範囲」に示しました。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語 (1-1000 番)、その補足として付録が 7 部 (Supplement 1-7) 収録されています。

この TOEIC リーディング入門コースでは、収録された単語のうち、1-700 番までと、Supplement 4, 6, 7 をテストします。下表「**金フレの範囲**」にある数字は、単語番号と Supplement の番号に言及したものです。例えば「金フレの範囲」に「1-200」とあるものは、単語番号 1 番から 200 番が、「Supplement 4」とあるものは Supplement 4 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「**直前対策模試の Part (大問) と問題番号等**」について…『直前対策模試』（1 回分の TOEIC 模試とその解答・解説から成っています）は予習不要です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。授業の状況により、一部の問題は扱いきれないこともあるかと思えます。その場合、宿題または次回の学習範囲となります。また、この授業では扱わないリスニングセクションの Part 1-4 (1-100 番) は自習教材としてお使いください。リスニングセクションを授業で学びたいという方は、この授業の前の時間帯 (水 5) リスニング入門の受講もご検討くださいましたら幸いです。

授業週	金フレの範囲	直前対策模試の Part (大問) と問題番号等		講義のポイント
Week 1	Supplement 4	Part 5	101-130	・オリエンテーション ・ TOEIC リーディングセクション概観 ・ Part 5 の test-taking strategy
Week 2	1-200	Part 6	131-146	・ Part 6 の test-taking strategy
Week 3	201-300 Supplement 6	Part 7 (1)	147-157	・ Part 7 の test-taking strategy ※ 以降比較的ゆっくりとしたペースなので、前倒しに進めたり、質疑応答、追加の演習などを行う場合があります。
Week 4	301-400 Supplement 7	Part 7 (2)	158-167	
Week 5	401-500	Part 7 (3)	168-175	
Week 6	501-600	Part 7 (4)	176-185	・ Part 7 ダブルパッセージの strategy
Week 7	601-700	Part 7 (5)	186-200	・ Part 7 トリプルパッセージの strategy

● (参考) 講座後に…模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい (TOEIC 学習の世界では「3 回法」などと呼ばれています) と言われています。「模試本は採点してから勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します：

1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする



2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く (復習効果を狙う)

3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く (英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識) …以上です。よろしくお願いたします。

中央大学国際センター 2026年度 春学期 TOEIC 講座 600点コース・リスニング入門（水5） シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

● コースの説明…水曜6限に開講するリーディング入門コースでは、同じテキストを使用し、リーディング対策を行います。お時間に余裕がありましたら是非合わせての受講もご検討ください。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>TOEIC600点の取得を目指して、TOEICのリスニングセクション（Part 1-4）の概要を知り、本番で慌てないようにするための基礎講座です。単語帳を使用して600点を取得するために必要な頻出語を学習し、また本番より少し易しめの模試問題集によって出題形式や出題範囲、受験のコツや学習方法を学びます。TOEICを受験したことがないが気になる、受験したことがあるが対策をしたことがない、近いうちに初めての受験を予定していて、準備無しで受験するのが心配といったみなさんに向けたコースです。授業の雰囲気は、オンラインではありますが、勉強会のような感じをイメージして頂ければと思います。どうぞお気軽にご参加ください。</p> <p>※ 当講座では、新年度のクラス分けなどで用いられることが多いオンラインのTOEICテストではなく、紙のTOEICテストを念頭において学習します。紙のTOEIC対策ができていれば、オンラインのTOEICにも対応可能であるのがその理由です。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEICテストのリスニングセクション（Part 1-4, 1番～100番）に関する入門的な知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア（目安）</p>	<p>600点</p>
<p>使用テキスト／電子書籍ではなく紙版を推奨します テキスト（2冊、2,310円）</p>  	<p>① （単語帳）TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ 増補改訂版』（朝日新聞出版、990円） ※ 2026年1月に増補改訂版（新版）が出ました。当講座では増補改訂版を使用します。 https://publications.asahi.com/product/25791.html ※ 同著者の同出版社からの類似のタイトルの著作、『金のセンテンス』、『金の文法』、『金の1000問』等と間違えないようにお買い求めください。</p> <p>② （模試問題集）早川 幸治、ロス・タロック著『TOEIC L & R TEST 直前対策模試』（語研、1320円） ※ こちらも旧版がありますが、2026年4月20日発売予定の改訂版を使用します。 https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-465-4</p> <p>※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場のTOEICコーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。また、一般の書店でも購入できますが、市中の書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。</p>
<p>1回の授業の流れ</p>	<p>オンラインで集合し、次項に示したスケジュールに沿って manaba 上の単語テストを解き、続いて模試問題集によって学習を進めます。単語テストの準備以外予習は原則として不要です。講師と一緒に勉強会のような授業だとお考えいただくとイメージしやすいかと思います。あまり急がず、質疑応答や音読等を交えつつ、1回～2回の授業で大体大問（TOEICではPartと呼びます）1つに関する学習を終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>□ 予習…原則として不要です（開講後状況に応じて調整する可能性があります）。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題の解き直しなどをお勧めします。</p>
<p>受講生のみなさんへのお願い （I～IV）</p>	<p>I. 会議ツール Zoom Workplace または Microsoft Teams を使用したオンライン授業となります。大変申し訳ありませんが、見逃し配信・教室での同時対面式開講の予定はありません。 また、以下2点は、担当講師よりお願いです。 お願い1) オンラインで集合する際、本名を日本語で表示するようにして下さい。講座に登録していない人物の不正入室を防止するためです。ご協力をお願いいたします。 お願い2) カメラやマイクのon/offについては、基本的にはカメラoffで受講していただきます。ただし、ブレイクアウトルームでペアワークを行う場合など（初回に5分程度、顔合わせのペアワークを行います）は、カメラをonにするようお願いいたします。 II. テキストのコピー、PDFの配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 III. 遅くとも開講前日17:00までに、manabaのコースニュースより、会議ツールのミーティングURL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。 IV. 600点を意識して授業を進めますが、目標スコアはあくまで目安です。大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール…こちらに示した模試問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合があります。

※ 下表「金フレの範囲」について…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

① 授業開始時に manaba の「小テスト」機能を使用し、単語テストを行います。1 回 10～15 問で原則として選択式です。

② 毎週のテスト範囲は、下表左、「金フレの範囲」に示しました。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語 (1-1000 番)、その補足として付録が 7 部 (Supplement 1-7) 収録されています。

この TOEIC リスニング入門コースでは、収録された単語のうち、1-700 番までと、Supplement 2 と 3 をテストします。下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号と Supplement の番号に言及したものです。例えば「金フレの範囲」に「1-200」とあるものは、単語番号 1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「直前対策模試の Part (大問) と問題番号等」について…『直前対策模試』（1 回分の TOEIC 模試とその解答・解説から成っています）は予習不要です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。授業の状況により、一部の問題は扱いきれないこともあるかと思えます。その場合、宿題または次回の学習範囲となります。また、この授業では扱わないリーディングセクションの Part 5-7 (101-200 番) は自習教材としてお使いください。リーディングセクションを授業で学びたいという方は、この授業に続けて開講されるリーディング入門の受講もご検討くださいましたら幸いです。

授業週	金フレの範囲	直前対策模試の Part (大問) と問題番号等		講義のポイント
Week 1	Supplement 2 Supplement 3	Part 1	1-6	・オリエンテーション ・ TOEIC リスニングセクション概観 ・ Part 1 の test-taking strategy
Week 2	1-200	Part 2	7-31	・ Part 2 の test-taking strategy
Week 3	201-300	Part 3 (1)	32-49	・ Part 3 の test-taking strategy (1)
Week 4	301-400	Part 3 (2)	50-70	・ Part 3 の test-taking strategy (2)
Week 5	401-500	Part 4 (1)	71-82	・ Part 4 の test-taking strategy
Week 6	501-600	Part 4 (2)	83-100	・ リスニングセクションのまとめ
Week 7	601-700	予備日	-	・遅れがあればそれを取り戻します ・質疑応答、追加の演習等

● (参考) 講座後に…模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい (TOEIC 学習の世界では「3 回法」などと呼ばれています) と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します：

1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする


2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く (復習効果を狙う)

3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く (英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識) …以上です。よろしくお願いたします。

中央大学国際センター主催 2026 年度 春学期 TOEIC 講座 700 点コース 模試演習 (木5) シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

● コースの説明 (春・秋学期にリピート開講をしておりますが、春学期は問題集の Test 1、秋学期は問題集の Test 2 を扱います。また、春学期の受講を秋学期受講の前提としてはおりませんので、春学期と秋学期に連続して、あるいは学期毎にご受講いただけます。)

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>全7回の講座で、TOEIC テストを概観し、本番同様のレベルの問題集半分 (TOEIC1 回分、200 問) を学習します。受講者一人一人が自身の弱点を発見し、今後の学習のヒントを得られるような中級～上級講座を目指します。模試本は持っているけれども、積ん読になっている、あるいは模試本に進む勇気が出ない・敷居が高いなどと感じている方、オンラインではありますが、皆で集まる強制力を利用して実戦形式で TOEIC の問題に取り組んでみませんか？ ※ 当講座では、オンラインの IP ではなく、紙の TOEIC テストを念頭において学習します。紙の TOEIC 対策ができていれば、オンラインの TOEIC にも対応可能であるのがその理由です。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テスト全般について、本番で慌てないために幅広い知識を得る ② 開講中、開講直後に目標スコアを達成する、または講座終了後も学習を続け、目標を達成するための学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>700 点</p>
<p>使用テキスト (1 冊、3,300 円)</p> 	<p>Educational Testing Service 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 6』 (国際ビジネスコミュニケーション協会、3,300 円) ※ 教科書 (一般に「公式問題集」と呼ばれています) はこのシラバス執筆時点で 1-12 巻まで出版されていますが、この講座では第 6 巻を使います。春学期に Test 1 を、秋学期は続きの Test 2 を学習します。 https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_ud_06.html ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。取り寄せも可能かと思えます。また、一般書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。</p>
<p>1 回の授業の流れ</p>	<p>オンラインで集合し、次頁に示したスケジュールに沿って、模試問題集の学習 (予習不要です) を進めます。講師と一緒に勉強会のような授業だと思えばいいと思います。1 回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1 つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。</p>
<p>予習・復習</p>	<p><input type="checkbox"/> 予習…不要。復習に力を入れましょう。 <input checked="" type="checkbox"/> 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。一般に、模擬試験は 3 回法といって、3 回解くと学習効果がより高まると言われています。</p>
<p>注意事項・ 担当講師からのお願い</p>	<p>① オンライン授業となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 講義は会議ツールの Zoom Workplace または Microsoft Teams を使用します。大変申し訳ありませんが、録画・見逃し配信・教室での対面開講の予定はありません。2) カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断しますが、プライバシーや授業の受けやすさ、通信量・品質等を考慮し、ずっとカメラやマイクを on にしたまま進行する授業ではありませんのでご安心ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 17:00 までに、manaba のコースニュースより、会議ツールのミーティング URL と、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。700 点取得を前提として授業を進めますが、大切なことは参加者のみなさんの意欲です。</p>

● 講座のスケジュール … **こちらに示した問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合があります。**

※ 下表「問題集のパートと問題番号」について… **問題集は予習不要**です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。授業の状況により、扱いきれないこともあるかと思います。その場合、宿題または次回の学習範囲となります。また、**このコースでは Test 1 のみを扱います (Test 2 は秋学期講座で取り扱います)。**

授業週	問題集 (Test 1) のパートと問題番号		講義のポイント
Week 1	Part 1 & 2	1-6 7-31	・オリエンテーション ・TOEIC テストリスニングセクション概観 ・ Part 1 と Part 2 のスコアアップのコツ (このコツのことを、test-taking strategy と言います)
Week 2	Part 3	32-70	・ Part 3 の test-taking strategy
Week 3	Part 4	71-100	・ Part 4 の test-taking strategy ・ リスニングセクションまとめ
Week 4	Part 5	101-130	・ TOEIC テストリーディングセクション概観 ・ Part 5 の test-taking strategy
Week 5	Part 6 Part 7 (1)	131-146 147-157	・ Part 6 の test-taking strategy ・ Part 7 の test-taking strategy (シングルパッセージ前半について)
Week 6	Part 7 (2)	158-175	・ Part 7 の test-taking strategy (シングルパッセージ後半について)
Week 7	Part 7 (3)	176-200	・ Part 7 の test-taking strategy (マルチプルパッセージについて)

● (参考) 講座後に…模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい (「3 回法」などと呼ばれています) と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します (講座中に担当講師からも他の使用方法などお知らせします) :

- 1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
- 2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く (さらなる復習効果を狙う)
- 3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く (英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識)

以上です。どうぞよろしくお願ひします。